

# 私たちの町議会 りくべっ

No. 91

発行月日・平成30年2月16日  
編集・議会運営委員会  
発行・北海道陸別町議会

## 12月定例会

陸別町議会12月定例会は、昨年の12月12日、13日の2日間開かれました。今定例会では、専決処分の承認1件、条例案2件、補正予算案7件を可決し、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、閉会しました。

## 平成30年 開町100年の年を迎える

～開町100年記念事業予算を計上～ 平成29年度 補正予算質疑から

○開町100年記念事業  
(周知用懸垂幕2枚の購入) 15万円

Q この事業の実施に向け、陸別町開町100年記念事業審議会及び同企画実施部という2つの組織を設けたと聞いている。

委員の日当、費用弁償などの予算が計上されないのは何故か。

A 2つの組織は、地方自治法上の正式な諮問機関・委員会等に当たらないので、日当や費用弁償がない組織として、町内の各団体から委員を出していただいている。

Q これまでの準備状況と今後の見通しは。

A これまでに審議会を2回、企画実施部の会議を4回開催した。今後は、企画実施部に設けられた部会の中で、具体的な事業内容を決めていくことになる。



再建された福寿荘

Q 9月23日を100周年記念式典の日とすると、準備期間は既に1年を切っている。

広く町民の関心を喚起するためにも、今年度中にやるべきことがあるはずで、相応の予算を追加すべきだ。

A 事業内容が詰まっていけないものに対しての予算措置は考えていない。

1月をめどに事業内容を固め、新年度予算に反映させる。

## 平成29年度 各会計補正予算 (一般会計は専決処分を含む)

会計名	補正額	総額
一般会計	△1億3,032万円	45億2,923万円
特別会計		
国保事業勘定	254万円	5億0,988万円
国保直診施設勘定	△568万円	3億1,335万円
簡易水道事業	△90万円	1億8,339万円
公共下水道事業	△1,771万円	1億8,135万円
介護保険事業勘定	1,591万円	3億1,507万円
後期高齢者医療	△11万円	4,121万円

○福寿荘建設工事費 △6千583万円  
大幅な減額の要因は。

Q は。

A 当初予算において、当初予定に比べて、平面図しか完成していない早い段階で積算したため、機械設備や、基礎工事など、多めに見積もらざるを得なかった。

# 一般質問

12月定例会では6人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

中村 佳代子 議員

## 運動施設の今後の

### 取り組みを伺う

**Q** 町民プールは、築35年を経過し、老朽化と、低温な日は利用できないことがあるなど、建て替えを検討する時期にきているのではないか。

**A** その際には、バイオマスエネルギーの活用と、水中ウォーキングやトレーニング施設を兼ね備えた複合施設にしようか。

**Q** (野下教育長) 現時点で、プールの建て替えの計画はない。利用実績や利用者のニーズを踏まえ、次期総合計画策定時に検討する。

**A** (野下教育長) 緑町のサッカー場、若葉町のスケートリンクなど、学校から離れたところに子ども達が使用する運動施設があるが、運動施設の全体構想はあるのか。

**Q** (教育長) 若葉町のスケートリンクなど、学校から離れたところに子ども達が使用する運動施設があるが、運動施設の全体構想はあるのか。

**A** (教育長) ご意見の施設以外にも野外活動施設、テニ

スコートなどでも要望が寄せられている。

財政や費用対効果を踏まえ、総合的に判断していきたい。

**Q** (野尻町長) 人口減少もあり、施設の利用状況は、検証する必要がある。

**A** (野尻町長) 利用者の意見やニーズ調査を踏まえ、総合計画等に反映したい。

## 公民館図書室の有効活用を

**Q** 図書室に図書館司書を配置し、憩いの場としての活用を推進するため、小会議室や喫茶スペースを設置し利用の拡大を図るべきでは。

**A** (教育長) 利用者が減少傾向にあり、読書習慣の定着を重点的取り組みとしているほか、絵本のプレゼントや、読み聞かせサークルの再開を目指している。

## 雇用を確保するためにも

### 奨学金制度の改正を

**Q** 奨学金について、給付型とした場合の対象者の制限、返済猶予期間など課題が考えられる。

**A** (町長・教育長) 奨学資金貸付条例にある「経済的理由・学資の支弁が困難」などという表現の要件は、心情的な負担を考慮し、外すべきと考えるが、検討状況を伺う。

**Q** (町長・教育長) 本町の制度は、奨学資金と医療技術職員養成修学資金があり、他の市町村の例や中・高生及び保護者を対象としたアンケート結果を参考に制度改正に向けて検討している。

**A** (町長・教育長) 奨学資金と医療技術職員養成修学資金があり、他の市町村の例や中・高生及び保護者を対象としたアンケート結果を参考に制度改正に向けて検討している。

本田 学 議員

## 奨学金制度の改正に

### 向けた検討状況を伺う

**Q** 本町の奨学金制度について、生徒・保護者へのアンケートも実施されているが、どのような検討がされているのか。

**A** (町長・教育長) 現在、本町では2つの制度があるが、奨学資金貸付は、昭和51年から行われ、当時の社会情勢により経済的理由で修学が困難な家庭を対象とした。助成額の見直しや、給付型にした場合、希望する就職先が本町にあるか、償還据え置き期間、償還型との選択制など検討課題が多い。

**A** (町長・教育長) 医療技術職員養成修学資金貸付は平成9年から行われ、診療所の薬剤師、レントゲン技師、看護師などの医療技術職が不足し、民間企業を含め雇用を補おうとして始まった。介護職など、どのような職種を加えていくか課題となっている。



# 一般質問

**Q** 陸別町産業担い手対策委員会では、どのような意見がでているのか。  
(野尻町長)

**A** 10月から林業、建設業、商工会、社会福祉法人の代表者と町で構成し、意見交換を行っている。

働き手の確保が重要課題であることが共通の認識であり、奨学金制度の見直し、資格取得への支援などが見がある。

林業などの季節雇用者の通年雇用化に向けた各産業の連携も必要だと考えている。

## とかち広域消防

### 事務組合職員給与の改正による影響は

**Q** 組合の新規採用職員の給与統一がされるとのことだが、在職者はどうなるのか。  
(町長)

**A** とかち広域消防事務組合職員の給与は、発足から5年後をめどに全職

員で統一することが目標になっているが、それぞれの自治体で給与制度が異なり、本町は統一困難との考えだ。在職者との調整の課題もあるが、平成31年4月から新規採用職員の統一は、やむを得ないという方向性になっている。

**Q** 給与の統一により、管内の人事異動の増加につながるのではないかと。  
(町長)

**A** 人事異動は、個人の都合など、あくまで希望者に限られる。

## 久保広幸 議員

### 公共施設等の管理計画について

**Q** 町は、多くの建物、施設を所有、管理しているが、人口や産業規模の変化に応じて、将来負担を考慮した整備、維持管理、処分が必要と考えるが。

(野尻町長)

**A** 公共施設等総合管理計画を策定しているが、保有する公共施設の全体面積は、人口減少と人口構造の変化を見据えた縮減を基本とし、原則、新設は行わず、新設が必要な場合は複合化・集約化の検討、費用対効果・地域の活性化を考慮する。

また、施設の長寿命化を図ることにより、資産を有効に活用することとしている。

**Q** つつじヶ丘団地は、高齢者を主な対象として入居していただく住宅として整備したと認識している。

他の町営住宅と異なる視点で維持管理を行っていくべきでは。

(町長)

**A** この町営住宅は、平成22年の建設当初、65歳以上の方の高齢者向けの特定目的住宅としていたが、平成22年度からは一般の町

営住宅としており、他の町営住宅と同様な考えで行っている。

**Q** 市街地にある町有未利用地について、利用構想があればお示しいただきたい。

(町長)

**A** 未利用地は少なく、現時点で施設等の設置予定はない。

## 人事評価の活用に向け

**Q** 職員を対象とした人事評価制度が導入されたが、どのような運用がされているのか。  
(町長)

**A** 昨年度、目標設定や評価方法の研修を経て77・3パーセントの職員が実施し、能力評価と業績評価の各種項目について、自己評価と課長等による1次評価が行われた。

今年度も個人目標、組織目標の設定が行われている。

〔次のページへ続く〕



# 一般質問

**Q** 人事評価の目的は、個々の課題解決能力を

高め、組織全体の士気高揚により、公務遂行能率と住民サービスの向上を図ることで、職員間に差をつけるものではなく、育てるものと説明を受けている。

この制度を活かし、活発な人事異動により、オールラウンドな職員を育てることが必要では。

(町長)

**A** 本町は医療職や保育士などの専門職を除くと職員数が少なく、能力や実績に基づく適材、適所の配置が難しい。

ご意見については、同様な考えであるが、人事異動は、その時々判断になることをご理解願いたい。



## 再任用制度の導入を

**Q** 知識や経験が豊かである人材を有効に活用するために町職員の再任用が必要であり、この制度を導入していいのは、全国でも僅かである。

制度の導入を拒み続ける理由が分からない。

(町長)

**A** 職員の再任用制度については、地域の理解も重要と考えている。

フルタイムの雇用は、職員定数の対象となるため、若手職員の採用が難しくなる。

過去に再任用制度について議会で否決された経緯もあるが、情勢も変わっているので慎重に検討したい。

渡辺三義 議員

## 林業の振興について

**Q** 造林事業で使用する刈払機の購入に対し、助成する考えはないか。

(野尻町長)

**A** 刈払機は、林業だけではなく、他の産業でも使用され、林業に限定するのは難しく助成していい。

**Q** 町内事業体の高性能林業機械導入にあたって、過去の国、道及び町の助成の状況を伺う。

(町長)

**A** 平成14年度に陸別町林業機械利用組合を設立し、北海道の補助事業により、グラップルソー、ブラッシュカッター、ハーベスタを導入し、補助率は、道1/2以内、町は、道補助残の1/2以内を助成した。

また、国の補助事業により、ハーベスタ2台、グラップルソーが導入されており、補助率は、国が1/2以内

で、町の助成は行ってない。

**Q** 高性能林業機械の購入に対し、町単独でも助成することにより、本町の林業を守り、後継者を育成すべきでは。

(町長)

**A** 現在も国や道の補助制度はあるが、条件が厳しく、採択を受けるのは困難だと聞いている。

今後の購入は、既存機械の更新になると見込まれ、他の産業との公平性も踏まえて考えたい。

## コミュニティバスの活用について

**Q** コミュニティバスの運行開始から1年が経過したが、利用状況と改善内容を伺う。

(町長)

**A** 診療所、保健福祉センター、薬局、買い物など、利用が定着してきたと感じているが、定時運行であることを理解していない方もおられ、時刻表の配

# 一般質問

布などで更に周知をしていく。

平成29年4月から11月までの利用者は、1千121人で、1日当たり6・75人。郊外線の運行は延べ22日、39人となっている。

改善点は、利用者や運転手の意見を参考に、運行経路上であれば、どこでも乗降可能としたほか、新町、栄町地区の経路延長など経路の見直し、郊外線の曜日指定の廃止を行った。

今後利用者等の意見を聴きながら見直しを図っていききたい。



▶ 一般の車両と見分けが付き易いように、屋根の上や側面に「コミュニティバス」の表示が追加されました。

**Q** 現在の車両は4輪駆動ではなく、狭い、乗降しづらいなど、不便を感じている利用者が多いと聞いている。

10人乗り程度の車両に変更する考えはないか。

(町長)

**A** ご意見の内容については、町としても承知しているところだが、コミュニティバスとして利用することなどを条件に日産自動車から3年間無償貸与を受けていることをご理解願いたい。

今後については、利用者数の状況等を踏まえ検討していく。

## 多胡裕司 議員

### 外国人の研修生等の増加に伴う町政を問う

**Q** 各産業で、雇用の確保が重要な課題になっ

ており、農業や福祉分野等では外国人の研修生等に頼らざるを得ない状況にある。

外国人研修生等は、町単

独事業の地元雇用促進事業の補助対象となっていないが、今後、制度改正等により支援していく考えはないか。

(野尻町長)

**A** 現在、本町では、5つの国、24名の外国人が登録されている。

地元雇用促進事業は、町内居住、正規雇用などを要件としているため、外国人研修生等は補助対象となっていない。

現在、産業担い手対策委員会、ソフト面での支援等を協議、検討しているところである。

**Q** 外国人研修生等を受け入れるため、陸別のPRビデオの作成や、役員を現地の面接、説明会場に派遣するなど、町が関わりを持つべきでは。

また、来町後、日本語が学べる機会、安価な住宅の提供、インターネット環境の整備など、働きやすく、住み心地の良い環境作りが必要だと考えるが。

必要だと考えるが。

(町長)

**A** 公営住宅については、町民と同様な条件で申し込みは可能であるが、貸付を受けている旭町の旧森林管理署住宅の活用も予定している。

対応全般に当たり、議員及び産業担い手対策委員会の意見や他町村の例も参考に研究していきたい。

**Q** 土曜授業などを利用して、外国人研修生等を講師とした、外国語、食など、異文化交流を行う考えはないか。

(野下教育長)

**A** 子ども達が様々な国の文化と接することは、国際化の観点からも得るものが大きいと考えており、小学校ではJICA(ジャイカ)国際協力機構の研修員との交流事業を平成28年度から実施している。

学校運営の判断は校長となるが、研修生としての立場や研修先の責任などの課題も考えられ、関係者と協議したい。

「次のページへ続く」

# 一般質問

谷 郁司 議員

**高齢者が安心して  
健やかに住み続けられる  
政策の考えを伺う**

**Q** 本町の高齢者数と、その内、一人暮らしの方の人数は。

(野尻町長)

**A** 平成29年11月末現在で、人口2千444人で、65歳以上の方は934人(38%)、この内、一人暮らしの方は215人。

**Q** 総合計画、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等に掲げる目標のうち、高齢者に係る部分の達成状況などについて説明願う。

(町長)

**A** 各計画とも計画期間中であり、最終的な実績はでないが、おおむね計画どおり推移していると捉えている。

現時点では、在宅から特養入所に至るまでの間の軽度要介護者のための施設が

無いのが課題となっている。なお、平成31年10月予定の消費税増税時に合わせ、上下水道料金の減額を検討する予定である。

**Q** 次期、高齢者保健福祉計画の策定に向けた、介護予防日常生活圏域二丁目調査の回収率等の状況を伺う。

(町長)

**A** 調査対象は65歳以上で、要介護認定を受けている方を除く770名、回収率は約70%となっているが、提出されなかった方については、現在、職員が訪問して状況確認と調査を行っている。

次期計画策定において、重要な資料として活用していきたい。

**Q** 地域包括支援センターと町民の関わりを深めたい。

(町長)

**A** 地域包括支援センターは、持っている専門的な知識や情報を関係者間で

共有し、特に介護予防の充実を図る役割を有している。相談窓口としての支援センターの役割をお知らせし、利用していただくようにしていきたい。

**Q** しらかば苑の改築時には、居宅介護住居と介護施設を統合した施設を保健センター前に建設してはどうか。

(町長)

**A** 色々な方法が考えられ、将来的な課題として関係者と相談していきたい。

**Q** 引きこもりの解消や体力の維持、イベント参加に向けた取り組みは。

(町長)

**A** ほっとカフェ、ふまねっと運動、転倒予防体操教室を行っているが、介護予防日常生活圏域二丁目調査での意見を踏まえ更に検討する。

また、町内で実施されている各種行事の充実に努めていく。

**Q** 成年後見制度の活用状況は。

(町長)

**A** 社会福祉協議会が運営する陸別生活安心センター「ささえーる」に委託して行っているが、平成28年度は4名、今年度は5名の見込みとなっている。

**Q** 跡継ぎの家族がいなないなど、遺骨の納め方に苦慮している方のために合葬墓を建立してはどうか。

(町長)

**A** 自治会長会議の席でも同様な要望があったが、これまで具体的な相談がなく、二丁目がどれほどあるのか検討段階であり、現時点では設置する考えはない。





## 総務常任委員会報告

10月25日、陸別町高齢者保健福祉計画、障がい福祉計画の改定（平成30年3月予定）に向けて、町内の福祉事業者に、現状と課題をお伺いしてきました。



▶北勝光生会では、雇用の確保が一番の課題とのこと。給与などの待遇改善を実施したこと、独自の奨学金制度創設を予定していること、ベトナム人研修生の採用内定などのお話がありました。

◀NPO優愛館からは、北勝光生会と同様に人手不足であること、個別の課題としてグループホーム「ゆうの里」の暖房設備の更新などがあげられました。



11月25日、陸別中学校を訪問し、国立環境研究所と銀河の森天文台による出前授業（土曜授業）を参観してきました。11月29日、再建された福寿荘を視察しました。

町の担当職員から、スプリンクラーの設置や火気の持ち込み制限の徹底など、安全面を中心に説明を受けました。

今後も引き続き調査・研究することにしていきます。



▶安全に加えて、快適で住みやすい施設運営を期待いたします。

## 条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 専決処分の承認を求めることについて 〔陸別町一般会計補正予算（第5号）～ 内容：衆議院議員選挙関係予算〕	承認
● 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決

## 選挙管理委員及び同補充員の選挙

平成30年1月22日で任期満了となる選挙管理委員の選挙を、議長の指名推薦により行いました。

選挙管理委員が任期中に欠けた場合、その職にあたる同補充員の選挙も行い、次の方々が当選しました。

### 選挙管理委員

穴澤信子さん

(東一条2区)

石川忠義さん(栄町)

三好 悟さん(新町2区)

市原 弘さん(殖産)

\*選挙人名簿順

### 選挙管理委員補充員

第1順位

瀬藤文典さん(共栄第1)

第2順位

菅野悦子さん(下斗満)

第3順位

松村麻理子さん(元町)

第4順位

向井 悟さん(共栄第1)

## 産業常任委員会報告

11月6日、下斗満に竣工した育成牛舎などを視察しました。

J A 陸別町が子牛の育成事業を拡大することにより、個人・法人の酪農事業者の省力化や生産性の向上が期待されます。

今後も引き続き調査・研究することとしています。



▶ 国の補助金(畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業)を活用して、J A 陸別町が育成牛舎などの整備を進めています。

## 議会の動き

【10月】

25日 総務常任委員会町内視察(北勝光生会・N P O 優愛館)

【11月】

6日 産業常任委員会町内視察(J A 育成牛舎など)

7日 議員研修会(更別村)

25日 総務常任委員会町内視察(中学校土曜授業)

29日 総務常任委員会町内視察(福寿荘)

【12月】

8日 議会運営委員会

12日 12月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

13日 12月定例会

議員協議会

議会運営委員会

(広報編集会議)

【1月】

12日 議会運営委員会

(広報編集会議他)

次回の定例会は3月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。

12月定例会では、延べ3人の方に傍聴に来ていただきました。

今後皆さんの傍聴をお待ちしております。



## 陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】

<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>